



令和三年度

夕鶴の里

第一回運営協議会

新型コロナウイルス感染症の影響で延期になっていた夕鶴の里第一回運営協議会が七月二十日(火)開催されました。会議に先立ち、南陽市教育委員会社会教育課の山口広昭課長より、代表して川合ひさ子さんに委嘱状が交付されました。

会議では、正副会長の互選が行われ、会長に川合ひさ子さん、副会長に白岩けい子さんが選出されたほか、令和二年度の事業報告と令和三年度の事業計画が審議され、原案どおり承認、決定されました。

夕鶴の里資料館報

令和3年8月10日
第128号
発行 夕鶴の里
TEL 47-5800



- 会長 川合ひさ子さん (織物工芸家)
- 副会長 白岩けい子さん (民話会ゆうづるの会長)
- 委員 武田俊孝さん (鶴布山珍藏寺副住職)
- 〃 山田和男さん (漆山小学校長)
- 〃 伊藤進司さん (夕鶴の里友の会会長)
- 〃 大竹和子さん (民話会ゆうづるの副会長)

漆山小学校

出前口演

漆山小学校からの要請を受け、七月九日(金)、今年度初めての出前口演に伺いました。民話会ゆうづるより六名が出向き、各学年の教室で朝、十五分程度語りを聞いて頂きました。一年生は、初めての出前口演なので、民話の中に出てきた言葉を質問するなど、すごく興味をもって、聞いていました。二回目は十一月に予定されています。



友の会研修会



七月十日(土)、夕鶴の里友の会研修会が十七名参加で行われました。今年度は午前中の半日コースで、建高寺、三堀観音、薬師寺、蛙石、十分一山を巡りました。コロナ禍で、残念ながら一緒に会食ができませんので、参加者の皆さんに、お弁当をお渡しして、解散とゆう形になりました。参加者からは、「南陽市内で身近な場所がありながら、訪れる機会が少なかつたり、知らない事も多く、とても勉強になった」との声を頂きました。南陽市内の歴史や名所を巡り、新たな魅力が再発見できた研修会でした。

第二十一回
夕鶴の里語り部養成講座

長沢登代さん
講演（口演）会



表情豊かに民話を語る
長沢登代さん！
笑顔も素敵でした！

長沢さんの大好きな「水戸黄門」の歌を手拍子しながら歌いました。



七月十一日（日）、第二十一回夕鶴の里語り部養成講座の一環として、講演会が開催されました。

今年、元民話会ゆうづるの長沢登代さんによる「語り&トーク」が行われました。

当日は、ガイドラインにより、語り部ホールの収容人数が五十名に限られていたため、来場者は予め予約受付と言う形になりました。

伝説民話「鶴の恩返し」から始まり、約一時間三十分で十一話の語りを披露して頂きました。

民話の他にも、大好きな歌を会場の皆さんと歌ったり、武田正先生との思い出話もユーモアいっぱい語ってくださいました。

そして、武田正先生との電車の中でのエピソードに出てきたあれを見よ

深山の桜咲きにけり

真心尽くせ

人知らずとも

（松原泰道氏作）

が、凄く心に残りました。

現役さんからの長沢登代さんの「語り&トーク」は、会場の皆さんの心に残る貴重な時間でした。長沢さん、本当にありがとうございました。

語り部養成講座
閉講式

六月五日（土）から四回に亘り開講されていた「第二十一回夕鶴の里語り部養成講座」の閉講式が、七月十七日（土）行われました。

今年度は、子どもの部（小学生二名）、大人の部（六名）が受講し、閉講式では、覚えた語りを、受講生や講師、保護者の前で披露しました。

今年度は、受講日数が少なく、また、受講生の半数が初参加でしたが、皆さん、堂々としていて素晴らしい語りでした。引き続き来年も受講して頂きたいです。



夕鶴の里昔のあそび
「押し花でコースターやおしりを作ろう！」

七月二十四日（土）、今年度第一回目の昔のあそびが開催されました。

今回は「押し花でコースターやおしりを作ろう！」でした。参加者は、押し花を選び、しおりやコースターの台紙に創意工夫をこらして乗せ、それをラミネート加工して作りました。

しおりもコースターも皆さん上手に出来ました。



夕鶴の里企画展のお知らせ

〜願いと祈りの民間信仰展〜

令和三年八月三日（火）〜

十月七日（木）

夕鶴の里資料館三階

特別展コーナー

※入場料は入館料に含まれます。